

事業報告書

(令和 6 年度)

社会福祉法人生活・文化研究所

目 次

I.	中期3か年目標（ビジョン）に基づく取り組み状況	1
II.	運営状況	3
	1. 実施事業	
	2. 地域における公益的な取り組み	
	3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況	
	4. 施設整備・備品等の購入	
	5. 職員配置	
	6. 苦情受付状況	
III.	事業所報告	7
	1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）	
	2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援B型）	
	3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）	

I. 中期3か年目標（ビジョン）に基づく取り組み状況

中期経営計画（令和4年度～6年度）に基づく主な取り組み事項は以下のとおり。

<ビジョン1.経営に対する基本姿勢>

地域から信頼される安定的な経営マネジメントの実践

- 4月の全員研修において、経営理念・方針等について全職員に周知した。
- 大幅な報酬改定に伴い、変更点等の確認、吟味を行って作業を進めることができた。
- 自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を策定し、必要に応じて随時、見直しを図ることができた。今後は、事業継続アセスメント（BCM）体制の確立を図っていかなければならない。
- 相談支援従事者初任者研修、キャリアパス対応生涯研修等への参加により、職員の研修・教育を充実させ、次世代の経営層の育成に努めることができた。
- 自治会、地域住民等との意見交換の場の設置について、具体的な話し合いはできなかった。
- 環境整美と称して、道路、歩道の除草、ゴミ拾いを行った。
- 1月の全員研修において、事業継続計画（BCP）の意義、内容について確認し、机上訓練についての認識を深めることができた。
- 監査ガイドラインを活用した自主点検を毎年実施し、改善を図ることができた。

<ビジョン2.支援に対する基本姿勢>

本人の満足・家族の安心を得る包括支援の取り組み

- 人権を尊重し個人の尊厳を守る姿勢について、倫理綱領や職員行動指針に明記し、全員研修において周知した。引き続き、「傾聴」「受容」「共感」の姿勢を忘れずに支援に努めていきたい。
- 虐待防止管理体制の整備に努め、虐待防止の予防と対応・対策について、全員研修において周知することができた。また、職員虐待防止チェックを行うことができた。
- 青森県障害者権利擁護センター主催の「障がい者虐待防止・権利擁護研修会」を受講し、理解を深めることができた。
- 第三者委員による定期訪問や苦情解決制度周知ポスターの更新、投書箱の確認等に取り組み、苦情解決体制の強化を図った。適正化委員会が行う苦情解決関係者等研修への参加は難しかった。
- 楽しみを感じられるような行事（家族の会バス旅行（青森市）、愛の輪レク（南部町）、五戸まつり、グリーンツーリズム、収穫祭、ふれあいフェステバル等）への参加を通じて、社会参画・交流の機会を設けた。
- 「なかま通信」や「献立予定表」を発行し、月毎の行事予定、行事や活動の様子、献立内容を伝えることができた。
- 利用者に向けて、熱中症・食中毒予防啓発に関する研修を行うことができた。
- 水分補給やこまめに休息をとる等の対策により熱中症発症者はいなかったが、年々暑さが

厳しくなっており、常時利用者がいる場所には、今まで以上の暑さ対策の検討が必要と思われる。

- グループホーム内で発症したコロナウィルス感染症の対応として、生活介護サービスの提供を一時停止して、蔓延を防ぐことができた。
- 食事提供体制加算の要件により、栄養士が献立の作成にかかわることで、栄養バランスに配慮した昼食を提供することができた。また、利用者ごとの摂食量を記録することで、栄養面や健康面もチェックすることができた。
- 全利用者の健康診断や定期的な体重測定、生活介護サービス利用者の協力医検診、嘱託医検診等により、利用者の健康面の把握に努めた。
- 「利用者・ご家族様満足度調査（アンケート）」を実施し、集計結果を全職員に周知するとともに、利用者・ご家族様へも配布することができた。

＜ビジョン 3. 地域社会に対する基本姿勢＞

多様な地域ニーズと地域共生社会の推進

- しあわせネットワークの総合相談窓口を相談支援事業所が担っており、経済的援助（ライフサポート）の実績が2件あった。
- 地域では、単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増加しており、草取りや草刈り、清掃、除雪等の依頼があるが、常連依頼者の施設入所等により依頼件数が減ってきている。
- BCP と関連付けながら、災害時の地域の災害支援拠点や福祉避難所の取り組みへの備え等、地域住民の安全・安心な生活の確保が必要である。
- 地域住民より、法人敷地内の倒木や樹木の撤去依頼があったが、現地を確認した後、速やかに対応することができた。今後は、敷地内の点検をしながら、問題を未然に防ぐよう環境整備に努めていきたい。
- グリーンツーリズムで、参加者とタマネギ収穫体験に取り組むことができた。
- 八戸学院大学大木ゼミからの依頼で、「五戸町におけるシニア世代のまちづくり活動と障がいのある方の社会参加への協力」に、施設紹介や利用者体験発表、配膳、販売活動等で協力、参加することができた。

＜ビジョン 4. 福祉人材に対する基本姿勢＞

福祉人材の育成・確保に向けた取り組みの強化

- 切谷内小学校、川内中学校からの福祉体験学習の受け入れを行った。
- 上半期は、3名が相談支援従事者初任者研修、1名が福祉職員キャリアパス対応生涯研修管理職員コースを受講しており、下半期には、3名がサービス管理責任者等研修を受講し、管理者や指導的職員のリーダー層の育成及びキャリア形成の研修に参加することができた。
- 東北地区社会就労センター協議会主催の職員研修会に参加し、就労選択支援についての情報を得ることができた。

II. 運営状況

1. 実施事業

＜第二種社会福祉事業＞

(1) 共同生活ホーム移山寮（事業所番号：0221200025）

サービス種類：指定共同生活援助（介護サービス包括型）

定 員：5 名

適 用 年 月 日：R6. 10. 1～R12. 9. 30

(2) 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（事業所番号：0211200043）

サービス種類	指定生活介護	指定就労継続支援B型
定 員	10 名	20 名
適用年月日	R5. 1. 1～R10. 12. 31	R3. 4. 1～R9. 3. 31

(3) 相談支援事業所移山寮（事業所番号：0231200056（者）／0271200065（児））

サービス種類：指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

適 用 年 月 日：R2. 4. 1～R8. 3. 31

＜第二種社会福祉事業以外の事業＞

(4) 生活困窮者就労訓練事業（事業所番号：0200000022）

定 員：8 名

2. 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者就労訓練事業

三戸地域自立相談窓口等と連携し、生活困窮者への就労支援・中間的就労の場の提供を用意したが、今年度も受け入れはなかった。

(2) 社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」参加（青森県社協）

参加社会福祉法人として総合相談（トータルサポート）を実施した。経済的援助（ライフサポート）の実績は2件あった。

(3) 地域住民対象の行事開催

移山寮収穫祭やグリーン・ツーリズム体験を開催し、地域住民との交流を通じ、障害者への理解を深めてもらう機会になった。

(4) 地域行事や取り組みへの協力

まちカフェ（五戸町地域包括支援センター、介護予防と認知症早期発見の活動）に毎月出店した他、イベントでの販売を行った。また、八戸学院大学主催のイベントへの参加協力も行った。

(5) 地域への活動場所提供

子どもあそびの広場（五戸町放課後子ども教育推進事業）へ、畑の一部を活動場所として提供した。

(6) ボランティア、体験学習の受け入れ

切谷内小学校・川内中学校の福祉体験学習や八戸高等支援学校の産業現場等における実習の受け入れを行った。

3. 理事会・評議員会・監事監査会の開催状況

(1) 監事監査会

開催日時：令和6年5月17日（金） 13:10～14:35

場所：移山寮本館 多目的室

出席監事：三浦啓子、金澤實

出席理事・職員：大西祐子施設長、松山事務長、小泉

重大な指摘事項：なし

(2) 理事会

開催日	出席者数		主 な 議 案 等
	理事	監事	
5月30日	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕 第1号議案 令和5年度事業報告並びに計算関係書類等の承認について 第2号議案 積立金の取崩及び積立について 第3号議案 新役員候補者の推薦について 第4号議案 定時評議員会の招集事項について 〔報告事項〕 ①理事長職務執行状況の報告について ②その他 ※全て議案通り承認
6月18日	6名	2名	〔決議事項〕 第1号議案 理事長選出について
11月19日	5名 (欠1)	1名 (欠1)	〔決議事項〕 第1号議案 令和6年度補正予算案について

			〔報告事項〕 ①理事長職務執行状況の報告について ②事業中間報告 ③経理中間報告 ④その他 ※全て議案通り承認
3月25日	5名 (欠1)	2名	〔決議事項〕 第1号議案 令和6年度補正予算案について 第2号議案 令和7～9年度中期経営計画案について 第3号議案 令和7年度事業計画案について 第4号議案 令和7年度当初予算案について 第5号議案 第三者委員の選考について 第6号議案 規程類の改正について 〔報告事項〕 ①社会福祉充実残額見込みについて ②理事長との利益相反取引について ③利用者・家族アンケート結果 ④その他 ※全て議案通り承認

(3) 評議員会

開催日	出席者数	主 な 議 案 等
6月18日	評議員6名 (欠1)	〔決議事項〕 第1号議案 令和5年度計算書類等の承認について 第2号議案 理事選任について 〔報告事項〕 ①令和5年度事業報告について ②新型コロナウイルス感染症発生について ※全て議案通り承認

4. 施設整備・備品等の購入

月日	件 名	価 格
6/3	F A X 複合機(食品加工場用) 1 台	43, 978 円
7/10	ノートパソコン(職員用) @¥89, 800×6 台	538, 800 円
3/26	中古軽自動車タント(送迎・生産活動用) 1 台	500, 000 円



ノートパソコン



中古軽自動車タント

5. 職員配置 (R7.3 月末現在)

区 分	職 名	常 勤	非常勤	常勤換算数
共同生活ホーム 移山寮	管理者	兼 1 名		1. 0
	サービス管理責任者	兼 1 名		1. 0
	世話人		2 名	0. 9
多機能型障害福祉 サービス事業所 移山寮	管理者	1 名		1. 0
	サービス管理責任者	1 名		1. 0
	生活 介護	嘱託医師	(1 名)	(0. 1)
		看護職員	1 名	0. 3
		生活支援員	1 名	1. 0
	B 型	職業指導員	3 名	5. 9
		生活支援員	1 名	1. 0
		目標工賃達成指導員	1 名	1. 0
	調理員		2 名	1. 1
	送迎担当者		3 名	0. 9
	事務職員	兼 2 名		1. 0
相談支援事業所 移山寮	管理者	兼 1 名		1. 0
	相談支援専門員	1 名		1. 0
本部	事務職員	兼 2 名		1. 0
		12 名	14 名	17. 3

6. 苦情受付状況

苦情・要望等の受付状況 3 件

(内訳)

- ・駐車場の無断利用に関する事 1 件
- ・農場敷地内の立木の枝払い、伐採及び除草に関する事 2 件

III. 事業所報告

1. 共同生活ホーム移山寮（共同生活援助）

グループホーム棟は、竣工から 28 年経過し、所々に老朽化が見られ、設備の修繕を計画的に行う時期となってきた。

一人一人の日常生活に気を配り、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に取り組んだが、4 月当初、入居者 1 名に発熱が見られ、キット検査をしたところ、新型コロナウイルスに感染、クラスターが起きないよう対策に努めたが、入居者全員及び関係職員に広がり、感染拡大を防ぐことができなかった。クラスターは 4 月 16 日終息し、五戸町役場、保健所に発生状況や対応等の必要な報告を行った。

入居者 5 名のうち 2 名は一般就労（農事組合法人くらいし、阿部繁孝五戸支店）、他の 3 名は就労継続支援 B 型を利用し、活動に取り組むことができた。一般就労で阿部繁孝五戸支店に就職していた入居者は、グループホームの生活に馴染むことができず、8 月 24 日退去することとなり、現在入居者数 4 名となっている。

入居者一人一人が地域で安心して暮らせるような支援を心掛け、世話人と連携を取り、食事提供や小遣帳の記入、生活面、健康面への支援に努めた。サービス管理責任者は、個別支援計画のモニタリングを行い、課題解決に向けて、より良い日常生活を送れるよう努めた。

(1) 利用者の利用状況（R7. 3. 31 現在）

定 員	利用者数	平均年齢
5 名	4 名	56 歳 10 か月

※日中活動先：就労継続支援 B 型 3 名、一般就労 1 名

(2) 開所日数と利用状況（R7. 3. 31 現在）

※平均利用者数 4.3 人/日 [前年度比 89.6%]

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
サービス提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365 日
サービス提供延数 (1 日の利用数合計)	131	145	139	145	129	120	124	120	124	124	112	124	1,537 人

※前年度実績・・・サービス提供延数 1,731 人、開所日 366 日、平均利用者数 4.8 人/日

(3) 主な行事

行 事 名	月 日
入居者会議	5 月、8 月、12 月、3 月
入居者健康診断（五戸町検診センター）	4 月 10 日（多機能型と合同）
消防訓練	8 月 2 日、1 月 26 日
協力医定期健診	7 月 29 日（多機能型と合同）
環境整備	随時
五戸まつり	8 月 30 日
入居者誕生会	11 月、1 月、3 月

2. 多機能型障害福祉サービス事業所移山寮（生活介護・就労継続支援 B 型）

4 月当初、管理者に変更があったり、大幅な報酬改定に伴う提出資料の確認作業があったりした。また、グループホーム利用者が新型コロナウイルス感染症に感染し、職員や通所利用者に広がり、生活介護サービスの提供が一時中止となり、落ち着かない日々が続いた。その後、落ち着いてそれぞれの役割を担って、活動に取り組むことができるようになった。

利用者の増減は、就労継続支援 B 型の利用者が 1 名、入院治療の甲斐なく死去したが、新規登録者が生活介護に 1 名、就労継続支援 B 型に 6 名あり、3 月末の登録者数は、41 名（生活介護 11 名、就労継続支援 B 型 30 名）となっている。利用者が増えた場合の利用日数の調整も視野に入れ、引き続き、新規利用者の獲得や高齢化への対応をしていきたい。

生活介護では、新聞紙バッグ作りを活動の中心として、時期に応じて梅の芯取りや紫蘇の実取りを行ってきた。これからは、利用者同士の会話が増えるような日中活動や、レクリエーションを取り入れた内容の検討が課題となっている。また、高齢化により服薬や金銭管理、健康や家庭問題等の相談、転倒防止等に丁寧に対応していかななくてはならない場面が増えてきているのが現状であり、新たに成年後見制度の利用者 1 名、介護保険制度への移行対応もしている。

就労継続支援 B 型では、「加工・農業・受託・手芸・カフェ」の中から本人の希望や特性に合わせて、継続的に作業に参加できるよう配慮しながら支援を実施した。今年度から作業評価表の内容を見直して、時給単価を上げて工賃支給を行うようにした。また、商品単価の値上げや請負価格の交渉を行い、収益を増やす努力をしている。生活介護と同様に、高齢化により作業内容や作業時間、作業場所等の見直しが必要となってきた。また、精神不安や生活リズムの乱れから、長期に休んだり、入院したりする利用者もあった。働く意欲の低下が見られる利用者が増えてきており、意欲向上のための支援が課題となっている。

前年度より平均工賃月額の見直されたが、今後もより高い工賃の支給をめざしていきたい。

(1) 利用者の状況 (R7. 3. 31 現在)

事業	定員	利用者数	平均年齢	住居のある地域
生活介護	10 名	11 名	63 歳 1 か月	五戸
就労継続支援 B 型	20 名	30 名	51 歳 0 か月	五戸、新郷、十和田、八戸

(2) 開所日数と利用状況

<生活介護> ※平均利用者数 7.3 人/日 [前年度比 102.8%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
サービス提供日数	17	21	20	22	17	19	22	20	20	19	19	20	236 日
サービス提供延数 (1 日の利用数合計)	119	156	140	155	118	142	154	156	154	144	137	142	1,717 人

※前年度実績・・・サービス提供延数 1,695 人、開所日 242 日、平均利用者数 7.1 人/日

<就労継続支援 B 型> ※平均利用者数 19.7 人/日 [前年度比 104.2%]

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
サービス提供日数	26	24	25	26	22	23	26	24	24	22	22	25	289 日
サービス提供延数 (1 日の利用数合計)	414	452	466	513	405	442	517	471	517	469	477	524	5,667 人

※前年度実績・・・サービス提供延数 5,742 人、開所日 304 日、平均利用者数 18.9 人/日

(3) 主な行事

月	事業所行事等	交流行事・見学等
4 月	環境整美 4/22 家族会総会・事業所説明会 4/30	
5 月	利用者健康診断 5/10 利用者会議① 5/16 熱中症・食中毒予防啓発 5/27 社協草集め 5/30	子どもあそびの広場へ活動場所の提供 5/19
6 月	第三者委員定期訪問① 6/3 消防部分訓練（部分） 6/14	グリーン・ツーリズム玉ねぎ収穫体験（5 名） 6/19
7 月	家族会バス旅行 7/12 協力医健診 7/29	
8 月	大清掃 8/7 嘱託医検診① 8/26	愛の輪レクリエーション（南部町）参加 8/2 五戸まつり見学 8/30
9 月	第三者委員定期訪問② 9/2	川内中学校福祉体験学習来所 9/4 かかしコンテスト出品 9/29
10 月	消防総合訓練② 10/11	切谷内小学校福祉体験学習来所 10/31

	社協草集め 10/16	
11 月	利用者会議② 11/1 感染症予防啓発 11/1 移山寮収穫祭 11/8 嘱託医健診（生活介護）② 11/18	障害者地域生活推進研修会 11/9 （利用者平野正規さん発表） 五戸町福祉大会 11/21
12 月	第三者委員定期訪問③ 12/3 大掃除 12/27	八戸学院大学イベント協力 12/14 マックスバリュ北園店来所（お菓子寄贈） 12/24
1 月	利用者会議③ 1/9	
2 月	嘱託医健診（生活介護）③ 2/17	ふれあいフェスティバル参加 2/8 まける市見学 2/13
3 月	第三者委員定期訪問④ 3/3 利用者会議④ 3/18	



4 月 環境整美



7 月 家族会バス旅行（青森市）



8 月 愛の輪レクリエーション（南部町）



9 月 五戸まつり見学



11 月 移山寮収穫祭



2 月 ふれあいフェスティバル

3. 相談支援事業所移山寮（特定相談支援・障害児相談支援）

行政機関、障害福祉サービス事業所、医療機関等との連携を取りながら、利用者一人一人の対応を適切かつ迅速丁寧に行うことで、信頼関係の構築に努め、一人一人の想いに合わせた計画の立案ができた。また、自立支援協議会等の参加により、市町村や関係機関との連携をとり、地域における福祉ニーズや動向等の情報が得られるようにした。

「豊かに安心して自分らしい生活」を念頭に入れながら、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切な障害福祉サービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成した。

< 特定相談支援事業 >

(1) 契約者数（R7. 3. 31 現在）

109 件 （五戸町 51 件、十和田市 10 件、八戸市 23 件、七戸町 0 件、南部町 4 件、
新郷村 6 件、三戸町 5 件、田子町 1 件、おいらせ町 3 件、階上町 1 件、横浜市 1 件）

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計
計画作成	24	25	14	19	82
モニタリング	44	60	63	72	239
合計	68	85	77	91	321

<指定障害児相談支援事業>

(1) 契約者数 (R7. 3. 31 現在)

5 件 (五戸町 2 件、八戸市 3 件)

(2) 計画作成状況 ※請求月基準

種類	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計
計画作成	3	1	1	0	5
モニタリング	3	3	6	2	14
合計	6	4	7	2	19